

様式 1 (第 4 条 第 1 項 関 係)

ボランティ ア 活 動 登 録 申 込 書

国 立 病 院 機 構 熊 本 医 療 セ ン タ ー 院 長 殿

貴 院 に お い て 、 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 を 行 い た い の で 、 下 記 の と お り 登 録 を 申 し 込 み ま す 。

申 込 年 月 日 : 平 成 年 月 日

申 込 者 (個 人)	氏 名	男 ・ 女
	電 話	
団 体 の 場 合 連 絡 先	団 体 名 代 表 者 住 所 電 話	
志 望 さ れ た 動 機 及 び 活 動 希 望 内 容 希 望 日 ・ 時 間 帯		
今 ま で の ボ ラ ン テ ィ ア の 経 験 の 有 無	有 ・ 無 (有 の 場 合 は 、 活 動 内 容 及 び 場 所 を 記 入)	
当 院 で の 活 動 の 有 無	有 ・ 無 (有 の 場 合 は 、 活 動 内 容 及 び 場 所 を 記 入)	
現 在 の 健 康 状 態		
趣 味 ・ 特 技 な ど		
ボ ラ ン テ ィ ア 保 険 加 入 の 有 無	有 ・ 無 (有 の 場 合 は 、 保 険 加 入 写 し を 添 付)	
そ の 他 参 考 と な る 事 項		

様式 2 (第 4 条 第 2 項 関 係) < 不 定 期 な ボ ラ ン テ ィ ア の 申 込 >

ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 参 加 申 込 書

国 立 病 院 機 構 熊 本 医 療 セ ン タ ー 院 長 殿

貴 院 にお いて、ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 を 行 い た い の で、申 し 込 み ま す。

申 込 年 月 日 : 平 成 年 月 日

申 込 者 (個 人)	氏 名	男 ・ 女						
	電 話							
団 体 の 場 合 連 絡 先	団 体 名 代 表 者 住 所 電 話							
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 参 加 希 望 内 容								
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 希 望 日 時 等								
平 成 年 月		日	月	火	水	木	金	土
午 前								
午 後								
平 成 年 月		日	月	火	水	木	金	土
午 前								
午 後								
平 成 年 月		日	月	火	水	木	金	土
午 前								
午 後								
平 成 年 月		日	月	火	水	木	金	土
午 前								

午後							
----	--	--	--	--	--	--	--

国 立 病 院 機 構 熊 本 医 療 セ ン タ ー
ボ ラ ン テ ィ ア 誓 約 書

私 は、独 立 行 政 法 人 国 立 病 院 機 構 熊 本 医 療 セ ン タ ー
に お い て、ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 を 行 う に 当 た り、別
添 「ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 参 加 者 の し お り - ボ ラ ン テ ィ
ア の 心 得 -」 を 遵 守 す る こ と を 誓 い ま す。

平 成 年 月 日

住 所 _____

氏 名 _____ 印

国 立 病 院 機 構 熊 本 医 療 セ ン タ ー 院 長 殿

国立病院機構熊本医療センター
ボランティア活動参加者のしおり
－ ボランティアの心得 －

1. ボランティア活動参加者として守っていただきたいこと

① 配属された部署の責任者とよく連絡し合い、その指示に従って下さい。

② 全ての患者さまに平等に対応し、特に親しい患者さまをつくらないで下さい。

③ 患者さまから何か聞かれても、医療の専門分野については、一切お答えしないで下さい。その時は配属された部署の職員にお知らせ下さい。

④ 患者さまの氏名、病名やその他病院で知ったことは、他言しないで下さい。また、ボランティア活動を辞めた後も同様に他言しないで下さい。

⑤ 病院職員のことについても、外部の者にあれこれ話さないで下さい。

⑥ ボランティア活動参加中、職員に自分自身の健康状態について訴えたり、特別な薬をもらったりしないで下さい。

⑦ ボランティア活動参加中、けがをしたり、気分が悪くなったりした場合は、遠慮なく配属された部署の職員に申し出て下さい。

⑧ 職員や患者さま、又はその家族から金品や贈答品は、受け取

らないで下さい。

⑨ 団体の場合、必要に応じ運用細則等を定め、各グループはその申し合わせ事項をよく守り、勝手な行動はしないで下さい。

2. 患者さまやその家族等への接し方について

① 自分に不向き、重荷と思われることについては、その理由をよく説明し、引き受けしないで下さい。しかし、一旦、引き受けたことは責任を持ってその任務を果たして下さい。

② ユニホーム等がある場合は、それを着用して下さい。

③ ボランティア活動内容により、靴は運動靴又はかかとの低いものを履くなど、活動にふさわしいものを着用するよう努めて下さい。

④ 他人に不愉快な感じを与えないよう、身だしなみを整え、アクセサリーや指輪を外し、マニキュア、香水もなるべく使わないなど、ボランティア活動内容によりふさわしい装いに努めて下さい。

⑤ 常に笑顔と明るい態度を心がけ、丁寧な言葉遣いで接するよう努めて下さい。

⑥ 個人の政治思想や宗教活動を持ち込まないで下さい。

⑦ ボランティア活動に参加する前後の手洗いやうがい等に努め、自分自身の健康に十分気を付けて下さい。

3. 継続的なボランティア活動の場合、注意していただきたいこと

① ボランティア活動中に弁償の責任が生じたときの弁済の手段として、「ボランティア保険」に加入して下さい。

② ボランティア活動を欠席する場合は、配属された部署の責任者に申し出て、その指示に従って下さい。

③ ボランティア活動中は、参加日、活動時間及び活動内容等を、毎日、備え付けの「ボランティア活動記録ノート」に記載して下さい。

い。

④ ボランティア活動中は、ユニホームとしてエプロン、名札の着用など、所属する部署で定めているので、その取り決めに従って下さい。

⑤ 私物は、決められたロッカーに入れ施錠し、自ら管理して下さい。

⑥ ボランティア活動参加者への連絡方法は、配属された部署の責任者の指示に従って下さい。

⑦ 各曜日毎に、リーダーを必要とする場合は、必要数を置いて下さい。

⑧ リーダーを決めている場合は、随時リーダー会を開催し、意見交換に努めて下さい。また、学習会等催事について、リーダーを中心に協力を求めて下さい。

⑨ 全体交流会を開催し、お互い理解を深め親睦を図って下さい。

⑩ ボランティア会計を設置する場合は、責任者を決め、必要に応じ担当者を決めて管理して下さい。

⑪ 定期的に、無期無断欠席者の整理に努めて下さい。

⑫ 病院は、ボランティア活動に参加されている人の住所等を他に漏らすことはしませんが、ボランティア活動参加者相互の交換は、自主的に任せします。

⑬ 病院で定められた健康診断は、必ず受けて下さい。